

ガバナー月信



Vol.11 May.

未来を見据えて変化しよう
—多様性を力に—





ガバナーご挨拶

2024-2025年度
第2770地区 ガバナー
岡村 睦美 (川口)



12グループのIMが全て終了し、各クラブの周年事業も8クラブが終了しました。残り2クラブの周年事業を残すまでになりました。

次年度の三大セミナーである地区チームラーニングセミナー、会長エレクトラーニングセミナーも終了し、次年度に向けての活動も活発化しています。4月には国際ロータリー、シカゴ本部にて、3年に一度施行される規定審議会が行われました。

正式には5月16日に全会長を集めての報告会が行われます。大きな変化は、地区大会が各地区独自の判断で執り行うこともでき、中止することも可能になったことです。

また、新クラブの設立には今までの20名から15名という人数に変更されました。

国際ロータリーは引き続き新クラブの形態を推奨しております。例えば、衛星クラブ、法人クラブ、インパクトクラブ、コンパニオンクラブと呼ばれる既存の従来型のクラブではない、様々な形態を認めています。そのため、ロータリーではクラブや地区で革新的なアイデアを試したり、型にはまらない考え方をすることが認められています。

もちろん、ロータリーには決して変えてはならないものがあります。中核的価値観、奉仕への献身、親睦、そして4つのテストの信念です。従来型のモデルがクラブでうまく機能しているのであればそれでもかまいませんが、そうでない場合、そのクラブは変革を迫られています。例えば、世界には新しいアプローチをするクラブが沢山現れています。

ネットワーキングに重点を置くクラブや、例会場所をローテーションするクラブもあります。新型コロナウイルスの進行時にオンライン例会を経験し、その良さを気に入って、対面式とオンラインを組み合わせたハイブリッド型を継続するクラブもあります。バーチャルな要素は、会員や非会員を問わず、世界の人々と関わることを可能にしました。また、対面式の例会と同様に、奉仕プロジェクトを強化することが出来ました。

ロータリー会員は現在、地域社会調査、奉仕プロジェクトの実施に関するブレインストーミング、更には多言語を必要とするクラブでの翻訳作業に、AIを活用しています。例えば、携帯電話でロータリーのコーヒーショップを検索することができます。しかしそのコーヒーショップは存在しません。私たちが目にした画像はAIによって生成されたものです。

私たちの周りには、あらゆる革新が存在しています。クラブが確信のアイデアを更に必要としている場合、これらの革新を推進し、何よりもクラブ会長がこの革新的行動に反対しないことです。むしろ変化の担い手になってほしいと思います。なぜなら、私たち一人ひとりがその革新の重要な一部となっているからです。革新は大勢で始めることはできません。まずはクラブ会長が推奨し、地区はガバナーが先頭に立つ必要があります。クラブの継続には革新が必要です。変化のできない組織はそれこそが危機です。

私たちは変化を恐れず、改革の担い手となって、一歩ずつ進んでいきましょう。
残り2か月余り、初心に帰り、皆様と共に充実したロータリー生活を送りたいと思います。

2024-25年度 第11G インターシティミーティング

7年3月30日 川口駅前キュポラ広場

令和7年3月30日(日)、国際ロータリー第2770地区第11グループIMが川口駅前キュポラ広場にて開催されました。

ご来賓に国際ロータリー第2770地区岡村睦美ガバナーをはじめ、他グループのガバナー補佐にも出席頂き誠にありがとうございました。



今年度は、ロータリーを幅広く市民に知って頂きたく川口駅前広場で第一部式典、そして第二部にキッズダンスコンテスト&各クラブの紹介を行いました。

そして広場では、各クラブテントでの奉仕活動展示物品販売を各クラブが工夫を凝らして、会員皆で協力して楽しくできた事がとても良かったと思いました。

第二部のキッズダンスコンテストでは、18チーム出場して頂き子供約80名の参加になりました。子供達の日ごろの練習成果が感じられて、とても素晴らしいコンテストになりました。



また川口東ロータリークラブが、日ごろから支援しているミニバスの子供達も約150名参加して頂き、大変賑やかにIMを盛り上げて頂き感謝いたします。

蔵ロータリークラブ創立 60 周年

創立60周年記念事業について

2025 年 3 月 20 日 ロイヤルパインズホテル浦和



平素より多岐にわたるご支援を賜り、蔵ロータリークラブは創立60周年を迎えることができました。

先人の並ならぬ努力と功績により60周年を迎えられたことに感謝いたします。記念式典にご臨席くださいました多くの皆様にも、紙面をお借りして、御礼を申し上げます。



記念事業として、一つ目は児童健全育成事業の手助けとして、蔵市立小学校7校に野球グローブ9個を寄贈予定していましたが、蔵市教育委員会教育長に18個ないと試合が出来ないと言われ、奮発して18個のグローブ(計126個)を寄贈いたしました。また、ある小学校の教頭先生よりドジャースの大谷選手はグローブと共にボール3個も送っておりまして、そのボールが大変好評で同じボールを頂きたいと言われ、各校5個ずつの追加寄贈を致しました。

この事業は記念事業費プラス、地区補助金1,000ドルを運用させて頂きました。

二つ目は、日本の国土は外国に比べて自然災害の多い国であり、道路や水道といったインフラやライフラインが壊滅的な被害を受けます。被災地で支援活動に従事された方々の報告では、被災者が一番困っていることは[トイレ]で、被災地では過酷な状況が続きます。仮設トイレやマンホールトイレは災害発生時の緊急対応として期待されますが交通網の分断や交通渋滞など、被災地に設置されるまでには、一定の時間を要します。

仮設トイレやマンホールトイレは野外に設置され、雨の日や夜間の利用は身体の不自由な方、女性や子供は特に使用しづらくなります。トイレの利用を減らそうと、あまり水分を取らなかったり、食べ物を控えたりして体調を崩されます。そこで[携帯トイレ・簡易トイレ]の備蓄が必要となり、蔵市の各避難所に3,000個の携帯トイレを寄贈致しました。

姉妹クラブ、台湾基隆南ロータリークラブの皆様とは1966年10月に締結し59年間の長いお付き合いで、当2770地区では1番古いクラブです。2年前に創立60周年記念式典に参加させていただき、大変お世話になりました。当クラブに招聘させていただくのは10年前、日本平ホテルでの創立50周年記念式典以来です。5年前の3月16日～18日も招聘させていただき準備万端でしたが、コロナウイルスまん延にて中止を余儀なくされ、極めて残念な思いでした。今回は川越観光、東京観光と充実した楽しい日々をお過ごしいただき、台湾へ帰国されました。



私達、蔵ロータリークラブ会員は周年記念事業を終え益々、奉仕の理念を推進した活動強化を奨励してまいります。末筆ではございますが、国際ロータリー第2770地区の皆様の発展とご多幸、ご活躍をご祈念申し上げます。



さいたまシティロータリークラブ創立 50 周年

7年4月1日 さいたま商工会議所

さいたまシティロータリークラブ 50 周年記念例会を終えて



【2025年4月1日 第2350回例会】

この日はさいたまシティロータリークラブの創立50周年記念例会でした。

岡村ガバナーをはじめ第1、2 グループのパストガバナー、各クラブ会長、幹事、他大勢のロータリアンの皆様お忙しい中お越し頂き、心より御礼申し上げます。

講演者は、

レッドブルジャパン株式会社

代表取締役 マリオ・アルバート・スタイン様

スライドや映像を交えた大変わかりやすく興味深いお話に、会場の皆様もお楽しみ頂いたことと存じます。その後の質疑応答の時間にも多くの皆様からご質問頂き、大変盛り上がりました。

第2部懇親会のアトラクションは、

プロダンサー 米倉メリア様

ピアニスト 山寄由起子様

美しいピアノの演奏に乗せた美しいフラダンスに魅了されました。

クラブの節目となるこの日を無事に終えることが出来、会員一同心より感謝いたします。

今後とも当クラブをどうぞよろしくお願いいたします。



さいたまシティロータリークラブ50周年実行委員長
池畑秀夫



川口北ロータリークラブ創立 50 周年

2025 年 4 月 5 日 市民ホールフレンディア



2025年4月5日(土)桜咲き誇る佳き日に大勢の方々にご臨席いただき、川口北ロータリークラブ創立50周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。

創立50周年記念式典を無事に開催する事ができましたのは、ひとえに皆様の温かいご支援ご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。

当クラブは昭和51年(1976年)3月3日に川口ロータリークラブをスポンサークラブとして創立し、本年度に50周年を迎えました。創立より社会奉仕を基調とし長年にわたり多くの皆様のお支えにより活動してまいりました。チャーターメンバー

である須田清会員には創立以来、今でも精力的にクラブ活動に携わっていただいております。

そして、当クラブのインターアクトの拠点校でもあります川口北高等学校様には国際交流の一環でもあります韓国留学生との交歓にご協力いただいております。

また、韓国安山ロータリークラブの皆様には1996年に姉妹ロータリーを締結いただいてから長年にわたり友情を育み、多大なるご支援をいただいております。さらに、私達が活動できているのも地域の皆様のお陰でございます。

今回の川口北ロータリークラブ創立50周年記念事業では、蕨駅東口6差路の交差点に気温表示板を設置いたしました。この気温表示板は近年の地球温暖化問題への意識を目的としておりますが、併せて蕨駅周辺のシンボルとして機能し、さらに川口市における地域振興の一助となるよう経済活動PRのためのフラッグ取り付けを可能とするなど有効活用いただきたいとの思いが込められております。この気温表示板の設置にはメンバーの皆様の協賛はじめ施工もメンバー企業のご協力により完成いたしました。新しいランドマークとして定着することを期待しております。

お支え頂いた全ての皆様に感謝し、それを糧にさらに末永く社会奉仕を通じ、より良い地域社会が創造されるように川口北ロータリークラブは活動を続けてまいります所存です。

今後もしばらくご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

川口北ロータリークラブ 会長 奥富 精一



岩槻東ロータリークラブ創立 45 周年

7年4月11日 サクラスカイパレス



ご列席の皆様におかれましてはお忙しい中、私ども岩槻東ロータリークラブの創立45周年の記念式典にご臨席をいただきまして、まことにありがたく、厚く御礼申し上げます。ご来賓の皆様には、平素より多岐にわたるご支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。

当クラブは日本経済が隆盛の中、1980年に会員28名で発足し、埼玉県257地区の74番目のクラブとして、赤塚正一ガバナーのもと、10月11日に誕生いたしました。

創立以来の45年間という年月を人間の年齢で考えますと、ようやく人並みに仕事ができるようになり、いよいよ事業の安定期を迎えようかというような、いわば「働き盛り」の年齢です。

我がクラブは45歳の誕生日を迎えたわけですが、「働き盛り」のクラブとして、ますます粉骨砕身、さらなる飛躍に向けてロータリアンとしての誇りを胸に、邁進したく存じます。また、改めて初心に戻り「50周年、100周年」を目指してたゆまぬ精進を積み重ねてまいる所存です。

皆様にはいっそうのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

岩槻東ロータリークラブ 会長 奥津 雅史



浦和ダイヤモンドロータリークラブ創立 45 周年

7年 4月 25 日 ロイヤルパインズホテル浦和



「30年の集大成そして未来への第一歩」

令和7年4月25日、浦和ダイヤモンドロータリークラブ創立30周年記念式典、講演、祝賀会をロイヤルパインズホテル浦和において開催いたしました。

16時より第1部、記念式典をスタート。点鐘後、大倉実行委員長、吉野会長挨拶、そして、さいたま市清水勇人市長に青少年育成のための寄付金を贈呈させていただきました。続いて岡村睦美ガバナー、田中作次元RI会長のご挨拶、第2770地区への寄付金贈呈、大倉実行委員長の記念事業発表後、閉会の点鐘。

第2部は、弁護士の坪井節子氏による自身の体験を交えた子供シェルターを通しての子供たちと交流について感動的なお話をいただきました。

第3部は祝賀会。親クラブである浦和東ロータリークラブ漆原誠会長、そして、元RI理事・パストガバナーの北清治様のご挨拶、熊木雄太郎ガバナーエレクトの乾杯のご発声と続きました。乾杯後は設立メンバーでもあった高柳和之会員のクラブ紹介、三遊亭吉窓師匠による落語に会場は大いに盛り上がりました。最後は、参加者全員で「手に手つないで」を歌って閉会となりました。

浦和ダイヤモンドロータリークラブが30年間、続けてこられたのは、多くのロータリアンの皆様のおかげです。今後も楽しいクラブ作りを目指してまいります。

浦和ダイヤモンドロータリークラブ
会長 吉野 拝





上尾西ロータリークラブ 『上尾西ロータリークラブ杯』

2025 年 3 月 22 日～ 4 月 16 日 UDトラック上尾スタジアム

上尾西ロータリークラブは、「奉仕の心」を大切にし、次世代を担う子どもたちの成長を応援しています。

この度、UDトラック上尾スタジアム(上尾市民球場)にて、上尾市スポーツ少年団兼上尾西ロータリークラブ杯争奪春季野球大会が開催され、3月22日(日)開会式～4月16日(土)閉会式に至る間、15チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

我がクラブは未来を担う若者の健全育成を目的としてスポーツ少年団の活動を、野球大会やロータリーの森育成活動を通じて長年支援してまいりました。地域社会への奉仕/次世代の育成、青少年奉仕活動の一環として、開会式では、各チームへ野球ボールの贈呈を行い支援の輪を捧げました。

閉会式では賞状、トロフィーの授与が行われました。勝ったチームも、惜しくも敗れたチームも、ここで得た経験は、これからの人生にきっと大きな力になることでしょう。

今回の大会が、参加者皆さんにとってかけがえのない思い出となり、これからも野球を通してたくさんのことを学んでいってくださることを願っております。

上尾西ロータリークラブ 会長 紅谷 旺司





ロータリー財団イタリア・インパクト旅行に参加して

第1 地域 ロータリー財団地域コーディネーター 飯村 慎一（宇都宮 90RC）

この度、ロータリー財団(TRF)のマーク・マローニー管理委員長が、アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)8名の会員でイタリア・インパクト旅行団を形成し、私もその一員として参加する機会が与えられました。

この企画は、管理委員会で承認され、2024年10月の議事録に次の様に載っております。

【ロータリー財団への主要寄付者とのつながりを強化し、財団プロジェクトを紹介するために事務総長は、2025年に管理委員長がホスト役を務め、最大7名の高額及び主要寄付者とそのパートナーを対象に、特別なインパクト旅行体験を提供することを提案した。

決定：管理委員会は、2024-25年度の寄付インパクト旅行を承認し、管理委員長とパートナーの参加を要請する】。

その結果、マローニーご夫妻が団長として、米国、インド、フィリピン、台湾、日本などの国々から8人のAKSとそのパートナーを招待し(費用は全額自己負担)、総勢20名で構成された旅行団で、日程は、3月13日～21日の9日間でイタリアを回る強行軍でした。

〈トリノ〉初日、メジャードナー顕彰・晩餐会が実施され、イタリアの14地区からガバナーが出席し、表彰されたメジャードナーの方々を祝福しました。旅行団員の中から代表で米国のAKS(レベル3)ご夫妻が登壇し、次の様なスピーチをされました。【私達は、社員数70人の中小企業を運営しておりますが、今回、世界の恵まれない人々へ少しでも支援できればと思い、百万ドル(1億5千万円)を寄付しました】。今まで、イタリア全地区でAKSの数は3人だけだったので、小さな会社でも多額の寄付ができたこのAKSの事例には、イタリア人からは大変な反響を呼び、大きなインパクトがありました。

〈フィレンツェ〉100年前からの歴史ある豪華絢爛な例会場で地区・クラブの財団活動の説明を受け、又、意見交換を致しました。帰国後、地区財団委員長から次の様なメールが届き、私自身、励まされました。【この度は、フィレンツェを訪問し、ロータリーの強い情熱を示していただきまして有難うございました。皆様の事例は、私達が偉大なる奉仕の精神を持って世界を良くしていこうとする活動へ大きな励みとなりました。】

〈ローマ〉ローマRCは創立100年を迎え、私達の日程に合わせ、100周年記念晩餐会を開催されました。又、数年前から市内の病院でグローバル補助金プロジェクトが始められ、現在、効果的に機能している様子を視察し、確認いたしました。

今回の訪問は、イタリアの各地区・クラブでAKSの活動を知っていただき、ファンドレイジングと、地区・グローバル補助金プロジェクトの重要性を認識していただいたインパクトのある旅行で、素晴らしい体験でした。陽気で情熱的な国民性の彼らと交流していると、正に「ロータリーは世界を繋ぐ」ことを実感いたしました。5月のTRF管理委員会でマローニー委員長がどのような報告をされるのか、今から楽しみです。





「モノ」から「コト」へ

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 小林 聡一郎（甲府北 RC）

観光で日本を訪れる人々の関心や興味が変わってきて、日光では陽明門を見る人々も当然いますが、その脇道の 70 体の苔むした地蔵が並ぶ道を訪れ、個性ある顔の違いに興味をもったコメントも聞くこともできました。ラーメンや寿司、天ぷらもそうでしょうが、和食への関心も高くなっていて、訪日目的として食べ歩く体験も楽しみになっている様子です。

これらのこととロータリー公共イメージがどのようにリンクするのか？と思われたかもしれませんが、「モノからコト」への変化はロータリーにも起きています。ロータリー会員個々がクラブに集い、親睦や奉仕活動を通してクラブライフを共有することがロータリーであるという感覚がクラブという「モノ」であるなら、クラブという大括りのモノから、もっと個別な個人としての体験や実感など「コト」に移行するのは時代の必然のように思います。



物質的な所有から体験やサービスへのシフトは、いくつかの要因が複合的に作用していると言われます。経済側面から見ると、物質的豊かさがある程度の水準に達し新たな価値を求めるようになり、この価値が体験やサービスへと移行、その背景には物質的な所有よりも持続的な満足感や記憶に残る体験を重視する傾向が強まったこと、また物質的な所有よりも体験の方が、その記憶が繰り返され持続的な幸福感をもたらすことと、さらには体験により他者との社会的つながりや認知的な共感を促進できるという側面もあります。社会的には、インターネットや SNS の普及で多くの体験やサービスにアクセスでき、物質的な所有よりも多様な選択肢を得ることができるようになったことも挙げることができます。

さてそこで、クラブに入会を誘う人々や、新聞・テレビを視聴する方々の関心の多くが「コト」であるのなら、いつまでも「モノ」の楽しさや優位性を広報しても、それらの方々には響かず、あまり効果は認められない時代になりつつあるのではないのでしょうか。体験やサービスを通して「コト」に共感する「心に響く広報とは？」「好意的な公共イメージとは？」。これまでの考え方や取り組みに自ら疑問符を付け、変化を加えてみたらどうかと思いますがいかがでしょう。My Rotary にもストーリーを伝えるなど幾つかが掲載されていますが、日本においては独自に日本流にアレンジし、クラブやロータリー会員が「コト」に向かって納得して取り組める活動になるような、何かよいアイデアはありませんか。キーは、曖昧な公共という概念ではなく、「パーソナルイメージの向上」の取り組みではないかと思います。



ローターアクトクラブの会員増強

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 大森 克磨（大分キャピタルRC）

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ国際ロータリー会長エレクトは、会長メッセージにおいて、「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です。」と述べられました。

ところで、第3地域においては、Elevate Rotaractを推進する水野功 RI 理事の指示により、本年2月から3月にかけて、ローターアクトクラブ及びローターアクトクラブ提唱クラブに対し、実態調査のためのアンケートを実施致しました。

そして、この調査で私が実感したのは、Elevate Rotaractを推進するには、ローターアクトクラブこそ、より強力に会員増強を図るべきだということです。

アンケートの回答を見ると、ローターアクトクラブ自体もElevate Rotaractを推進できない理由として、ローターアクター不足を挙げてはおりますし、また、クラブや地区での担当の行事が多い、本業が忙しくてローターアクト活動に十分な時間を割けない、なども根本的にはローターアクター不足が原因であろうと思われます。

また、例えば、地区ガバナーは、すべての地区委員会にローターアクターを任命することが強く推奨される（ロータリー章典17.030.2.）こと、Elevate Rotaractの一環ですが、これを実現するためにはローターアクターを増強せざるを得ないのです。

My Rotaryのレポートによれば、2025年4月1日現在の世界のロータリークラブ数は36,546クラブで、ロータリークラブの会員数は1,164,928人ですので、1クラブ当たりの人数は31.87人となります。

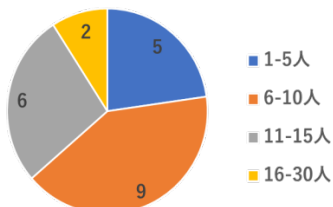
同日現在の日本のロータリークラブは2,194クラブ、ロータリークラブの会員数は83,356人で、1クラブ当たり37.99人であり、世界平均をかなり上回っております。

他方で、同日の世界のローターアクトクラブ数は9,350クラブ、ローターアクトクラブ会員の数は132,555人であり、1クラブ当たりの数は14.17人なのに対し、日本のローターアクトクラブ数は289クラブ、ローターアクトクラブ会員の数は2,662人ですので、1クラブ当たり7.9人であり、世界の平均に遙かに及ばないことが分かります。

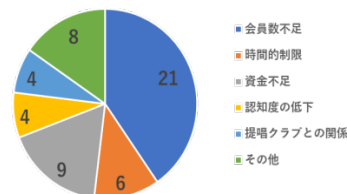
ロータリークラブも会員増強は急務ですが、ローターアクトクラブの方が会員増強はより急務と言えるのではないのでしょうか。



会員数 (回答 22クラブ)



RA地位向上が図れない理由、問題点、今後の方針 (回答 42クラブ 重複回答あり)





1 第6代よねやま親善大使が決定！ 7/1 始動

昨年12月から約3カ月間にわたり行われた「第6代よねやま親善大使」の募集には、29人から応募がありました。広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考を行った結果、以下の3人が新たな大使に決定しました。任期は2025年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事やクラブ例会などでのスピーカーとして、ぜひお声掛けください。よねやま親善大使に関するご連絡は、当財団事務局広報担当まで。



プーガ フロレス パブロ マヌエル

(メキシコ/2006-08/東京三鷹RC)

三菱鉛筆株式会社勤務。第2750地区東京広尾RC会員。2023-24年度同クラブ会長を務め、多様性、公平性、インクルーシブ性(D E I)を意識したクラブ運営に取り組む。会長年度に同地区内一人当たりの米山寄付額が地区5位を達成。



ガンバト トウメンバイヤル

(モンゴル/2014-15/大府RC)

コゴザス株式会社勤務。第3450地区フレアRC元会長。モンゴルの小中高一貫公立学校への図書室設置プロジェクトや、チョンジュRC(韓国)と協力し経済的に困難な家庭の幼稚園児への学費支援を行うなど、さまざまな活動に尽力。



カレ タオ

(ベトナム/2023-25/旭川RC)

生活協同組合コープさっぽろ勤務。2024-25年度在日ベトナム学生青年協会・北海道支部の会長を務め、日本とベトナムの交流支援活動に尽力。その他、日本とベトナム両国の交流促進のためのイベントを多数企画・運営している。

2 米山奨学生が感謝を表現 第2660地区学友会

3月2日、大阪市内のホテルにて、国際ロータリー第2660地区米山学友会が「米山感謝祭」を開催しました。「米山感謝祭」とは、米山奨学生がお世話になったカウンセラーや世話クラブ、ロータリー会員への感謝の気持ちを伝えるため、奨学生自ら企画し、運営するイベントです。

当日は米山奨学生・学友47人、同地区の大橋秀典ガバナー、吉川健之ガバナーエレクトをはじめ、多数のロータリー会員が駆け付け、参加者は106人となりました。

プログラムでは、「感謝の時間」と題し、奨学生たちがサプライズプレゼントや手紙をカウンセラーに贈り、直接思いを伝えました。また、米山バンドによる演奏と合唱が行われ、大盛況



のイベントとなりました。

同学友会会長の呉偉偉さん(2010-11/青森東RC)は、「奨学生たちは約3カ月前から何度も打ち合わせを重ねてきました。参加者からは『カウンセラーになって本当によかった』『自分もカウンセラーをやってみたい』といった声も聞きました。大きなやりがいと、米山奨学事業の素晴らしさを体感できた一日でした」と述べていました。

3 寄付金速報 — 単月では例年並みの推移 —

前年同期比

-8.8%

普 -1.0% 特 -12.4%

3月末までの寄付金は前年同期と比べて8.8%減(普通寄付金:1.0%減、特別寄付金:12.4%減)、約1億740万円の減少とな

りました。3月分の単月寄付額としては、昨年度より約580万円増加しました。今年度も残り2カ月半ほどとなりました。4月は新規奨学生に関する行事も増加しますので、引き続き米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

4 2025 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2025 学年度の奨学生は 965 人となりました。新規採用者 701 人、継続者 264 人です(4月14日現在)。国・地域別では、中国 40.1%、韓国 13.1%、ベトナム 13.0%、ネパール 3.8%、インドネシア 3.7%、マレーシア、モンゴル、台湾が同率で 3.5%の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学生が 919 人(学部 429 人、修士 315 人、博士 175 人)、地区奨励奨学生が 25 人、クラブ支援奨学生が 2 人、海外応募者

対象奨学生が 19 人となっています。4月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

5 「人生の宝物」世話クラブへのメッセージ

3月をもって多くの米山奨学生が奨学期間を終了し、新たな一步を踏み出しました。今回は、中国出身の姜雅婷さん(2023-25/交野RC)に、2年間の奨学期間を過ごした世話クラブである交野RCへの感謝の思いを伺いました。

＜姜雅婷さんより＞

初めての例会は緊張で少し距離を感じていましたが、皆さまの温かさでいつの間にかとても身近に、そして家族のように感じられるようになりました。共にした思い出はどれも心に深く残っています。

この2年間、たくさんの方に支えていただきました。特にカウンセラーの嶋田健一さんとは、祇園祭に一緒に行ったり、浴衣を着たりと、日本の文化を体験する機会をたくさんいただき、



姜さん(右から2人目)とカウンセラーの嶋田氏(左)



異国の地での生活が心豊かで温かいものになりました。振り返ると、私は決して一人ではありませんでした。いつもそばで見守り、支えてくださる方々がいて、その温かさが大きな力を与えてくれました。おかげで自分らしく、前向きに歩んでいくことができたと思います。

温かい笑顔に囲まれて過ごした一瞬一瞬が、私の人生の宝物となりました。交野RCの一員として受け入れていただいたことを心から幸運に思い、そして感謝しております。皆さまと過ごした時間は、これからの私の人生において、ずっと輝き続けるでしょう。卒業後も、皆さまの活動にお力添えができればと思います。そのときにまた笑顔でお会いできることを楽しみにしています。

再见、またお会いしましょう。必ず！

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp

URL : <https://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

編集担当：長尾(ながお)



2024-25年度 4月 会員数報告

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

クラブ名	2024年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
	内 女性		内 女性				
浦和	105	6	99	5	-6	6	3
浦和東	93	14	99	15	6	3	9
浦和南	23	2	24	2	1	1	1
浦和中	31	4	33	5	2	3	2
浦和ダイヤモンド	21	4	22	3	1	1	2
第1グループ計	273	30	277	30	4	14	17
浦和北	58	3	57	4	-1	4	4
さいたま中央	41	2	41	2	0	2	2
さいたまシティ	20	1	21	1	1	1	1
浦和北東	38	3	43	4	5	5	6
さいたま新都心	34	0	33	0	-1	2	2
第2グループ計	191	9	195	11	4	14	15
大宮	62	3	54	1	-8	5	6
大宮南	33	9	38	10	5	3	6
大宮中央	32	1	32	1	0	3	1
大宮シティ	42	4	44	4	2	3	3
さいたま樺	33	2	36	4	3	3	3
さいたま大空	15	6	13	5	-2	2	0
第3グループ計	217	25	217	25	0	19	19
大宮西	114	15	117	17	3	3	11
岩槻	19	0	27	3	8	5	9
大宮東	39	2	38	3	-1	3	3
岩槻東	22	3	21	3	-1	3	0
大宮北東	7	1	8	1	1	3	1
第4グループ計	201	21	211	27	10	17	24
上尾	34	0	33	0	-1	4	1
鴻巣	21	4	21	4	0	1	0
桶川	20	0	20	0	0	2	0
上尾西	34	3	35	4	1	2	1
北本	5	1	5	1	0	2	0
上尾北	21	0	20	0	-1	1	0
鴻巣水曜	25	0	25	0	0	2	1
桶川イブニング	29	3	26	3	-3	0	0
鴻巣イブニング	18	2	20	2	2	0	3
第5グループ計	207	13	205	14	-2	14	6
春日部	28	2	29	2	1	3	3
杉戸	37	3	35	3	-2	3	0
春日部西	27	3	27	1	0	3	2
春日部南	22	0	28	0	6	0	7
春日部イブニング	38	2	41	2	3	4	3
第6グループ計	152	10	160	8	8	13	15

ローターアクトクラブ

クラブ名	7/1会員数	当月末	増減	クラブ名	7/1会員数	当月末	増減
大宮	3	3	0	川口	15	11	-4
浦和北	11	13	2	大宮南	11	9	-2
獨協大学	5	6	1	蓮田	4	5	1
大宮東	8	7	-1	川口/鳩ヶ谷武南	4	10	6
文教大学	9	7	-2	戸田中央看護専門学校		123	123
共栄大学	11	45	34	ローターアクト計	81	239	158
地区合計				2281	2476	195	

クラブ名	2024年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
	内 女性		内 女性				
幸手	27	1	27	1	0	4	1
蓮田	45	3	46	3	1	3	1
久喜	47	7	50	7	3	5	4
幸手中央	17	2	15	1	-2	2	0
第7グループ計	136	13	138	12	2	14	6
越谷	90	3	89	6	-1	2	9
越谷南	37	3	40	4	3	5	5
越谷北	43	2	49	2	6	3	6
越谷東	70	5	74	5	4	5	10
越谷中	11	1	13	1	2	3	3
第8グループ計	251	14	265	18	14	18	33
八潮	50	4	39	4	-11	2	0
八潮イブニング	10	0	10	0	0	0	0
八潮みらい	18	1	18	1	0	2	0
草加松原	33	3	36	3	3	6	4
草加シティ	17	6	17	6	0	5	0
第9グループ計	128	14	120	14	-8	15	4
吉川	10	0	8	0	-2	3	0
三郷	32	4	31	4	-1	1	0
三郷中央	16	1	17	2	1	3	1
松伏	17	2	19	2	2	3	2
吉川中央	14	3	14	3	0	2	1
第10グループ計	89	10	89	11	0	12	4
川口	91	16	93	18	2	6	10
鳩ヶ谷	13	0	13	0	0	1	1
川口東	24	3	24	3	0	2	2
川口/鳩ヶ谷武南	22	2	23	3	1	2	2
川口モーニング	24	1	29	2	5	5	6
川口南	15	3	17	5	2	3	2
川口シティ鳩ヶ谷	7	2	7	2	0	1	0
第11グループ計	196	27	206	33	10	20	23
戸田	51	7	50	7	-1	6	0
蕨	16	3	17	3	1	3	2
川口西	13	1	11	0	-2	1	0
戸田西	20	1	20	1	0	1	1
川口北	30	1	28	1	-2	0	0
川口中央	11	1	11	1	0	1	0
川口むさし野	18	5	17	4	-1	2	0
第12グループ計	159	19	154	17	-5	14	3
地区合計	2200	205	2237	220	37	184	169
参考: 2024年4月地区合計	2241	197	2320	215	79	234	208

ロータリークラブ数	68RC
ローターアクトクラブ数	11RAC
2025年4月末会員数	2237人
RC+RAC会員数	2476人



国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116 エイペックスタワー東館1階
TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011
E-mail : ri2770@ri2770.com URL : <http://www.ri2770.com>